

第35回例会

通算第 1270 回例会 2026 年 5 月 27 日(水)

12:30~13:30 郡山ビューホテルアネックス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和:佐藤武司さん
- ▶ ゲスト:田鍋明宏 中央分区ガバナー補佐(郡山南 RC)
早川桂一 中央分区幹事 (")
平石秀樹 中央分区幹事 (")

▶ 宮崎登志行 会長 挨拶

先週は郡山南 RC55 周年と郡山 RC90 周年に参加しました。それぞれ立派な式典・懇親会で、いろいろな特色を見せていただけて楽しませていただきました。

▶ 田鍋明宏 中央分区ガバナー補佐 挨拶

今年度最終の挨拶に参りました。4 月の郡山アーバンコスモス RC30 周年記念式典も大成功に終わりました。実行委員長はじめ皆様大変ご苦労されたと思います。私どもの郡山南 RC55 周年式典も先週無事に終わりました。この 1 年を振り返ってみますと、7 月にガバナー公式訪問、11 月に卓話でお邪魔し、2 月に IM がありました。本来はガバナー補佐は 2 月でほぼ終わるのですが、今年は非常に周年行事が多くて後半も忙しく、2 人の分区幹事に支えていただいております。郡山アーバンコスモス RC の皆さんにも大変お世話になりました。1 年間どうもありがとうございました。

▶ 早川桂一 中央分区幹事

周年事業やゴルフ大会などいろんなところで皆さんと好意と友情を深めさせていただきました。宮崎会長はじめ皆さんにいろいろお付き合いいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

▶ 平石秀樹 中央分区幹事

3 度ほどお邪魔させていただき、30 周年記念ゴルフコンペにも参加させていただきました。準優勝でした。1 年間盛りだくさんの内容でしたが、いろいろ学ばせていただきました。1 年間本当にありがとうございました。



▶ 出席報告:西山早苗 出席副委員長

会員数 43 名、出席 20 名、欠席 23 名、出席率 46.51%です。

▶ スマイルBOX報告:増子ふみえ 委員長

田鍋明宏さん、早川桂一さん、平石秀樹さん、宮崎登志行会長、蔭山寿一さん、佐藤功一さん、鈴木かおるさん、橋本弘幸さん、平栗幹也さん、星相ノ介さん、佐藤武司さん、増子ふみえ、12 名からいただきました。

▶ 幹事報告:渡邊万里子 幹事

国際ロータリー第 2530 地区より 2026--27 年度会員増強委員会セミナーのご案内が来ております。6 月 21 日(日)1 時半からビッグパレットで開催されます。

2025-26 年度奉仕活動に関するアンケートの結果報告が届いておりますので回覧します。会員満足度のアンケートへのご回答もよろしくお願いします。

プログラム:会員卓話

▶ 西山早苗さん「介護ってどのくらい掛かる?」



お客様から介護について相談を受けることが多いので、このタイトルでお話をさせていただきたいと思います。医療従事者とか介護施設を運営されている方がいらっしゃる中で恐縮ですが、よろしくお願いいたします。まず私の自己紹介をさせていただきます。出身は須賀川市で、郡山の槻町に住んでいます。

夫と 4 歳の息子がいます。前職は国内生保に 4 年ほどいまして、ジブラルタ生命保険(株)は約 13 年になります。好きなことはカラオケ、温泉巡り、食べ歩きなどです。昨日 1 日だけワンデイファスティングをしました。今日は皆さんと食事をとれて、食べることで幸せだなと思っています。相続診断士と生命保険協会認定 FP、セミナーインストラクターの資格を持っています。

人生 100 年の時代になってきています。そして半数以上が何らかの病気でゴールを迎えています。よく PPK(ピンピンコロリ)がいいと言いますが、元気でゴールするのは 12%ほどで、なかなか難しいようです。介護が必要になった主な原因のうち約 35%が突然起こり得るものになっています。もし怪我で入院すると、普段の生活と比べて話すことや動くことが急に減ってしまい、軽度認知症になってしまうケースが多くなっています。高齢者が自宅で転んで怪我をするケースが非常に多く、玄関や勝手口で転んでしまったケースは第 2 位となっています。もし皆さんが介護状態になった場合、どんな介護を受けたいと思いますか。希望としては、できるだけ現状を維持したい、温かい食事を食べたい、毎日お風呂に入りたいなどあるかと思いますが、現実はその甘くは

ありません。介護保険の支給限度額で希望を叶えようとしても、自己負担費用が月 10～20 万円になってしまうことも珍しくないようで、理想と現実には大きなギャップがあります。介護状態になった際に必要となる考える資金は、今からでも準備をしておく必要はあるかもしれません。

介護資金を生命保険で準備するとしたら、どういう解決策があるかということをご紹介させていただきます。まず 1 つ目は 60 歳から 85 歳までの方がお持ちいただける認知症・介護保障付一時払終身保険で、認知症や介護に一生備える方法です。契約後 2 年間は一定の死亡保障のみですが、2 年経過しますと、認知症や介護の場合も含めて保障が大幅に増える形です。63 歳男性の覧に 203.4%と記載があります。1000 万円を預けていただいた場合、2 年経った 65 歳からは 200% の約 2000 万円の介護保障になるということです。認知症や介護で入所の状態になった場合には 2000 万円が 1000 万円です準備できることになります。女性であれば増える割合がもっと高くなりますので、ご夫婦でお持ちいただいているお客様が大変多いです。

2 つ目は、効率的にお金に働いてもらって、運用により介護資金を作る方法です。積立利率更改型一時払終身保険には 2 つタイプがありますが 1 つだけお話しします。当面使わないようなお金を一時金としてまず預けていただきます。こちらも現在 4.17%の高い利率となっています。健康告知なしでご加入いただけます。ご契約から 1 年経過すると、毎年利息を受け取れるため、お小遣いが増えたとか、毎年入ってくる利息で旅行などの楽しみができたというお声をいただいています。残っている元本は、万が一のときの介護資金の備えとか、死後の整理資金などにも備えられます。この保険は法人契約でも個人契約でも可能です。詳しくは個別に聞いていただけたらと思います。

▶ 二瓶節夫さん「住宅設備の仕事について」



まだ入会して日が浅いのですが、このような機会をいただきましてありがとうございます。まず自己紹介をしたいと思います。年齢は 55 歳、妻 1 人と子供 3 人、孫が 2 人います。自分でライフウォーターを立ち上げて 17 年目となります。設備工事業として、水回りの水道工事について少しお話ししたいと思います。水道工事というと、道路を掘削して水道管を入れ替える工事などを思い浮かべるかもしれませんが、私たちの管工事組合では本管と建築と住宅の 3 部門に分けています。本管というのが道路に埋設している水道管で、箱物と言っています。ビルとか工場などの関係が建築の部門です。住宅設備はアパートとか一般住宅の部門で、私は住宅を専門としております。蔭山さんは住宅のほかいろんな仕事をされていますし、吉成さんは箱物の建築の設備会

社で水道だけでなく空調、エアコン、換気扇など設備工事がお得意で、私は新しく建てた住宅に道路から水道管を引っ張って家の中に配管する仕事や、古くなった漏水修理や、給湯器の交換などが主な仕事になります。

水道管の本管は 50 年問題と言われて、50 年前に敷設した本管が古くなって入れ替えしなければならない時期になっています。これから工事が増えて、皆さんにご不便をかけるかもしれません。災害のときの漏水で思い出すのが東日本大震災のことです。水道管の本管があちこちで破裂して、住宅の中でも漏水して水が出ないということがたくさん起きました。その対応に関しては、水道局さんから組合の各部門に依頼され、住宅設備委員会として私も組合員として動いて、皆様のところに修理に行きました。みんなで一生懸命回って、頑張って直しました。郡山市内では本管の復旧が 3 日で終わりましたので、断水はそれほど長くは続きませんでした。

石川と熊本の災害復旧にも組合から行きました。水道が漏水した場合、使用者さんは水道局さんに連絡します。水道局さんから組合に連絡が行き、使用者さんの近くにある水道屋さんに連絡が届きます。地域にある水道工事屋さんが浸透していないように感じますので、皆さんに知ってもらうために、いろんなボランティア活動もやっております。郡山の水源である猪苗代の湖岸清掃とか、せせらぎ小道の清掃等々、組合のジャンパーを着て皆さんに分かるようにしてはいるのですが、まだあまり浸透していないように思います。電気科、土木科の学校はありますが、水道科はありません。次世代の人のために国会や県への働きかけなどの活動もしてはいるのですが、なかなかうまくいかず、今、人手不足で悩んでいるのも、私たちの業界の中で問題のひとつになっております。水道工事屋さんだけでなく建築業界全体がそうなので、誰かやりたい人がいたときには、どうか一声かけていただければと思います。

ボランティア活動はロータリーの奉仕の精神にもつながっているのかなと最近思うようになりまして、頑張っていきたいなと思っております。これからもライフラインを守るために一生懸命頑張っていきたいと思しますので、ロータリーともどもよろしくお願いいたします。

郡山の水源である猪苗代の湖岸清掃とか、せせらぎ小道の清掃等々、組合のジャンパーを着て皆さんに分かるようにしてはいるのですが、まだあまり浸透していないように思います。電気科、土木科の学校はありますが、水道科はありません。次世代の人のために国会や県への働きかけなどの活動もしてはいるのですが、なかなかうまくいかず、今、人手不足で悩んでいるのも、私たちの業界の中で問題のひとつになっております。水道工事屋さんだけでなく建築業界全体がそうなので、誰かやりたい人がいたときには、どうか一声かけていただければと思います。

ボランティア活動はロータリーの奉仕の精神にもつながっているのかなと最近思うようになりまして、頑張っていきたいなと思っております。これからもライフラインを守るために一生懸命頑張っていきたいと思しますので、ロータリーともどもよろしくお願いいたします。

